

多田小学校・新山小学校統合委員会 要点記録

第 7 回

| | | |
|------|--|---|
| 開催日時 | 平成27年11月10日(火) 午後6時30分～8時00分 | |
| 開催場所 | 南中野区民活動センター洋室1、2号 | |
| 出席者 | 委員 | 吉成武男、黒羽英晴、高橋芙佐子、大越謙多郎、 小関貞柱、小林英子、大川奈々、大矢進一、石浦礼子、 宮沢久之、道林京子、赤津知子、古澤貴子、松井敏、 廣瀬淑識、片寄玲子、小菅和子、浅野昭、板垣淑子 (敬称略、順不同) |
| | その他 | 教育委員会事務局副参事(子ども教育経営担当) 南部すこやか福祉センター所長 北部すこやか福祉センター地域子ども施設調整担当係長 |
| | 事務局 | 学校再編担当 |
| 会議次第 | 【報告】 1 地域開放型学校図書館について 2 南中野地域の地域子ども施設の再編について 【議事】 1 統合新校の校名について 2 その他 | |

第7回 多田小学校・新山小学校統合委員会 会議要旨

委員長

定刻となったため、これより第7回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。
議事に入る前に、報告事項が2点ある。事務局の説明を求める。

1 報告

報告(1) 地域開放型学校図書館について

事務局

現在、教育委員会では平成31年度に新校舎となる現中野神明小学校校舎と現大和小学校校舎についての検討を行っている。新校舎に新たに取り入れる機能として、地域開放型学校図書館と、キッズ・プラザがある。今回はそれぞれの担当から、基本的な考え方を説明してもらう。多田小学校・新山小学校統合委員会では新校舎の大規模改修について来年度から検討を行っていくが、これらの新しい機能の考え方を反映させていく。また、他の統合委員会の状況については、今後の協議の参考とするため適宜情報提供していきたい。

委員長

それでは、報告(1)「地域開放型学校図書館について」説明を求める。

■資料「いつでも誰でも本が手にできる～地域開放型学校図書館による読書環境づくり～」
教育委員会事務局副参事（子ども教育経営担当）からの説明

1 基本的な考え方

- ・児童生徒の豊かな心を育むため読書環境の充実と主体的な学習活動の支援
- ・地域における子ども・親子の読書活動の拠点
- ・区民が身近な学校で区立図書館サービスを利用できる

2 期待される効果

- ・区立図書館と直結したレファレンスサービス
- ・子ども読書活動の拠点
- ・地域に親しまれる学校

3 取組のポイント

- ・日常的な利用しやすさに配慮
- ・利用したくなるような魅力的な空間に
- ・誰にでも使いやすく分かりやすい

4 効果的に利用するための工夫等

- ・児童生徒の学習環境や安全面に十分配慮した施設配置、管理体制を確保し、学校運営と一体的な運営を図る。
- ・乳幼児親子をはじめ区民が気軽に立ち寄り、快適に利用できる空間とするなど、使いやすく開放感のある施設とする。
- ・学校用図書に加え、一般図書の充実を図るなど魅力的な蔵書構成とする。

委員長

今説明のあった「地域開放型学校図書館について」何か意見等あるか。

委員

地域の方や乳幼児親子が利用できるということは、誰でも学校に入れるということだと思うが、児童の安全面に配慮すると門や入り口を別にする必要があると思う。多田小学校・新山小学校統合新校では、新校舎の協議が始まっていないが、多田小学校の図書館は2階にあり、今の場所だと気軽に利用できないと思う。今後設計を考える段階で配慮してほしい。

区担当

児童の学習環境の充実や安全面での対応が前提条件となるため、十分配慮して施設配置についても考えていきたい。

委員長

資料に、「児童生徒の学習環境や安全面に十分配慮した施設配置、管理体制を確保し、学校運営と一体的な運営を図る」とあるが、皆この部分について心配している。

委員

地域の方や乳幼児親子が利用できることは大変ありがたい。学校図書館と区立図書館がインターネットで繋がるようになれば、子どもが必要な本を検索して、区立図書館から資料を取り寄せることもできるようになる。

委員

地域開放型学校図書館の管理責任者は誰になるのか。開放する時間帯はいつなのか。具体的なことが決まっていないと協議できない。

区担当

今説明した基本的な考え方を基に、今後も運用については詰めていきたい。管理者については、学校図書館は学校の中にあるものなので、学校長がトップの管理体制になる。ただ、区立図書館との連携もあるため、教育委員会として責任を持って運営することを考えている。

委員

とても素敵な試みだが、学校図書館は授業で使っている。常に開放されているとなると、学校

が本来使用する時間に使用できないのではないかと不安になる。どう考えているのか。

区担当

学校図書館なので、まず学校教育に使うことが最優先である。学校教育に支障がないということとを前提に地域の方や乳幼児親子に利用いただくということで考えている。

委員

そうすると説明があったような開放的なものにはならないのではないのか。

区担当

具体的なことはこれから詰めていきたい。しっかりと管理をする者も配置したいと思っている。安全面や学習環境の充実ということで、人的措置についても十分配慮していきたい。

委員

土日や長期休暇期間の開放について、想定しているのか。

区担当

多くの方に利用してもらいたいと考えているので長期休暇期間も利用できる方向で調整したい。

委員長

今回は具体的な説明はなされなかったが、詳細についてはまた報告してもらおうということで、地域開放型学校図書館が新校舎に整備されることと、その基本的な考え方についてはよろしいか。
—異議なし—

報告（２）南中野地域の地域子ども施設の再編について

委員長

続いて、報告（２）「南中野地域の地域子ども施設の再編について」南部すこやか福祉センター所長の説明を求める。

■資料「南中野地域の地域子ども施設の再編について」南部すこやか福祉センター所長からの説明

1 基本的な考え方

- すべての小学校内にキッズ・プラザと学童クラブを整備していく。
- 統合が計画されている小学校は、仮校舎から新校舎に移転する年に新校舎内に開設する。
- 児童館に併設の学童クラブは移転し、キッズ・プラザに併設する。

2 中野神明小学校と新山小学校の統合に関して

- 平成31年に中野神明小学校の位置で新校舎が完成し、キッズ・プラザを開設。南中野児童館内の中野神明学童クラブが新校舎に移転。
- キッズ・プラザ開設に伴い、南中野児童館は廃止となるが、子育て支援拠点等現在の児童館が担っている機能は、地域内で実施を検討していく。
- 平成29年から統合新校の仮校舎になる現新山小学校校舎ではキッズ・プラザ新山を利用できる。

3 多田小学校と新山小学校の統合に関して

- 平成33年に多田小学校の位置で新校舎が完成し、キッズ・プラザを開設。みなみ児童館内の多田学童クラブが新校舎に移転。
- キッズ・プラザ開設に伴い、みなみ児童館は廃止となり、みなみ公園を拡張する予定。
- 平成31年から統合新校の仮校舎になる現新山小学校校舎ではキッズ・プラザ新山を利用できる。現多田小学校内のキッズ・プラザ開設とともにキッズ・プラザ新山は廃止。

4 学童クラブの配置について

- 現在、南中野児童館、みなみ児童館、キッズ・プラザ新山に併設の区立学童クラブと民間事業者が設置・運営しているコンビプラザ中野南台キッズクラブの計4か所の学童クラブがある。

- ・中野神明学童クラブと多田学童クラブは小学校の再編に併せて、新校舎内に移転するが、新山小学校区内に、平成30年4月に民設民営学童クラブを開設し、区立新山学童クラブを廃止する。4か所の学童クラブで継続して安定的な運営を行う。
- ・自宅や学校からの距離、友人関係、延長利用など多様な選択肢から学童クラブを選択できる。

委員長

今説明のあった「南中野地域の地域子ども施設の再編について」何か意見等あるか。

委員

先ほど南中野児童館は廃止になるが、子育て機能は残すという説明があった。以前はそれがU18プラザだと思っていたが、どういう形になっているのか。

区担当

児童館を廃止していくことは決定しているため、これまで児童館が果たしてきた乳幼児親子の広場や地域の育成者の方の活動支援の拠点を用意しなければならないと考えている。それをU18プラザが担っていくと考えていたが、具体的な考え方が詰められなかった経緯があるため、見直しを行っている。南中野児童館がそのまま児童館の機能として残るということではなく、地域の中で必要な機能については補完する形で、検討をしていく。

委員

以前、説明会で来年度から新山小学校の学童クラブが民間に委託されると聞いた。平成30年4月に新山小学校区内に学童クラブを新設するということだが、それは公設民営になるのではないか。

区担当

現在のキッズ・プラザ新山は学童クラブが併設されているが、学童クラブの位置が学校の再編に伴い、途中で変わる可能性がある。学童クラブは保護者の皆様に安定した場所を提供し、数を確保して運営する必要があるため、切れ目がないように平成30年4月にあらかじめ学校の外に民設民営のものを用意する考えである。

委員

平成33年度に多田小学校と新山小学校の統合新校が多田小学校の位置に移った後、新山小学校にある民設民営の学童クラブが残るということか。

区担当

民設民営の学童クラブは学校の中でなく、校区内に設置する。ほかの地域でも商店街やビルの1階部分にあり、現在中野区内に8カ所設置している。

委員

新山小学校の施設が今後も残るという意味ではないのか。

区担当

そうではない。学校施設の跡地利用については地域支えあい推進室では承知していない。

委員

平成29年度の統合時点での児童館、学童クラブ、キッズ・プラザはどうなっているのか。もう一度説明してほしい。

区担当

平成29年度は南中野児童館・みなみ児童館に学童クラブがあり、今のキッズ・プラザ新山に学童クラブが併設されている。コンビプラザは継続している。数で言うと、児童館2つ、学童クラブ4つ、キッズ・プラザ1つとなる。

委員

そうすると今の南中野児童館のところに、キッズ・プラザと学童クラブがあって、それで新山小学校の位置にもキッズ・プラザがあるということか。

区担当

児童館にキッズ・プラザはできない。キッズ・プラザは新校舎が完成したら学校内に順次整備される。南中野児童館には、今も学童クラブがあるので、そこは新校舎ができるまで残る。みなみ児童館にも、学童クラブがあるので、同じく新校舎ができるまで残る。新校舎ができて、キッズ・プラザができた段階で、区立の学童クラブについては児童館からそれぞれのキッズ・プラザに移る。新山小学校校舎については最終的には使用しないため、キッズ・プラザの機能もそこで終了になる。

現在学童クラブは、児童館2か所、新山小学校内、コンビプラザの計4カ所にあり、これからも場所は違っても4カ所を切れ目なく用意していく。そこで新山小学校校区には平成30年4月にキッズ・プラザから離れて、民設民営学童クラブをつくり運営を継続していく。

委員

みなみ児童館は中学生が卓球やいろいろな活動の場として利用している。ここが公園になるということは、建物がなくなり、中学生が行ける場所がなくなってしまう。中学生の居場所についてはどう考えているのか。

委員

中高生の居場所がどんどんなくなっている。南中野児童館は地下に音楽室があって、中高生がたくさん利用している。児童館をなくすのであれば、青少年が利用できる施設を別に作って欲しいと思う。

区担当

青少年向けの事業は、U18プラザが目玉事業であったが、今の児童館を使った活動では難しいところがあった。卓球やトランプなどで利用している実態はあったが、これらが必ずしも希望に沿ったものとは言えないのではないかという考えもあり、U18プラザの考え方を考える中で、新たに考え方を持った方が良いということになった。例えば地域スポーツクラブや中学校を活用してバスケットや卓球の活動を行っている放課後子ども教室等、それらをもう少し改革するような方向で検討している。

委員長

地域スポーツクラブを中学生が利用できるということか。それは今整備している富士見中跡地にできる施設のことか。

区担当

そのとおりで、富士見中跡地に地域スポーツクラブや地域事務所等が整備される。そこが中学生の居場所になるということではなく、スポーツクラブの事業の一環として、中学生の活動というのも考えられると思っている。

委員

区が中高生を育てる姿勢が見えないことが、次世代育成委員をやっている中で不満に思う。

区担当

10か年計画の改定の中でもそういう視点を大事にして、総合的に考えていきたい。

委員長

それでは、南中野地域の地域子どもの施設の再編については、よろしいか。

一異議なし（区担当退出）

2 議事

議事（1）統合新校の校名について

委員長

それでは議事に入る。（1）「統合新校の校名について」事務局の説明を求める。

事務局

前回協議した内容について確認したい。まず校名の絞り込み候補として、多田と新山を組み合わせたような校名は外すということになった。次に残った校名の中で、委員が良いと思うものを

3つ以内で選ぶこと、また委員が追加したい校名があればその3つの中に入れることを決定した。また、資料等の公開は委員が追加する校名があるため、第6回の資料、統合委員会ニュース、要点記録を同時に公開することとした。こちらは10月30日に合わせて公開している。

■資料「校名募集の絞り込み結果について」事務局からの説明

- ・委員が選んだ校名は以下のとおり。
- ・追加も含めて67件あったものが20件に絞られた。
- ・番号に網掛けしているものが委員から追加で出された校名
- ・太字にしているものが、全国に同一校名の学校がある校名

(50音順)

| | | | | | |
|----|-------|----------|----|-------|--------|
| 1 | 大空 | おおぞら | 11 | みなみ | みなみ |
| 2 | 神田川 | かんだがわ | 12 | 南が丘 | みなみがおか |
| 3 | 桜川 | さくらがわ | 13 | 南空 | みなみぞら |
| 4 | 雑色 | ぞうしき | 14 | 南台 | みなみだい |
| 5 | 中野第一 | なかのだいいち | 15 | みなみだい | みなみだい |
| 6 | 中野みなみ | なかのみなみ | 16 | 南中野 | みなみなかの |
| 7 | 中野南 | なかのみなみ | 17 | 南の杜 | みなみのもり |
| 8 | 中野南台 | なかのみなみだい | 18 | みらいの樹 | みらいのき |
| 9 | 南郷 | なんごう | 19 | 夢の木 | ゆめのき |
| 10 | 南 | みなみ | 20 | りんどう | りんどう |

委員長

今説明のあった内容について質問等あるか。他に同一の校名があっても「中野区立」がつくので問題ないということか。

事務局

問題ない。

委員長

内容についてはよろしいか。

一異議なし

委員長

それでは協議を進める。委員が選んだものが一覧表になっているが、ここからまた候補を絞っていく。選定方法やこの校名が良いなど、意見等あるか。

委員

他の学校の保護者と話すときに、多田小学校と言うと、学校はどこにあるのかと聞かれたことがあった。区立小学校はその小学校のある場所が連想できるような校名が良いと思う。場所が連想できて、その場所に小学校があるということが大事だと思う。

委員

これまでもいろいろな意見が出ていた。新しい学校だから全く新しい名前が良いという意見や、地名が良いという意見、2校が対になるような名前が良いというような意見もあったと思う。

委員

参考に前期の統合委員会では、ここから先はどういう方法で校名を選んだのか教えてほしい。

事務局

いろいろな決め方があったが、一度絞った後なのでこれが一番良いのではないかというのを委員が発言したり、紙に書いて投票したりとか、そういうやり方があった。

委員長

今、事務局から前期の統合時の方法について話があった。何か意見等あるか。次回には校名を決定するスケジュールになるのか。

事務局

出来れば次回決定してもらいたい。

委員長

先ほど委員から校名について話が出たが、そういうことを考えながら、その中で1人1つか2つを選んで、そこから上位3つ程度を集計してもらうのはどうか。委員から絞り込み方法について意見等あるか。特別なければ、投票で如何か。

—異議なし—

委員長

投票する数については如何か。

委員

前回1人3つ選んだので2つに絞るのはどうか。

委員長

1人2つを選んではどうかという意見が出た。如何か。

—異議なし—

委員長

では、事務局から用紙を配付する。2つ以内で投票をお願いする。無記名で構わない。

事務局

その校名を選んだ理由等も参考になるため、時間がある方は記入をお願いしたい。

委員長

理由も書ければということのようだ。出し忘れのないよう願います。

事務局

集計が終わった。委員から2つ選んで投票してもらったが、票が割れている。票が入ったものを読み上げるので、チェックしてほしい。

委員長

票がかなり割れているようなので、複数票入ったものを教えてほしい。

事務局

それでは複数票入ったものを読み上げる。1番「大空」、7番「中野南」、12番「南が丘」、14番「南台」、16番「南中野」、17番「南の杜」、以上6校である。1票入ったものも8校あったので、全部で14校が選ばれた。

委員長

やはり「南」が入っているものが多い。

委員

票数は教えてもらえないのか。

委員長

票数については如何か。発表しても良いか。

—異議なし—

事務局

1番「大空」が2票、7番「中野南」が2票、12番「南が丘」が2票、14番「南台」が8票、16番「南中野」が7票、17番「南の杜」が8票である。また、複数票が入ったものについて、選んだ理由を書いているものを読み上げる。

「南台」について、地名が分かりやすく良いと思う。二つの新校にそれぞれ「南台」、「弥生」が分かりやすいのではないか。

「南中野」と「南台」について、小学校を利用するのは在校生だけではなく、PTA等の保護者も利用するというので、地域名が分かりやすいということ、ほかのPTAの方も地名が良いのではと言っていたから。

「南中野」について、地域が想像できてわかりやすい。中学校との一体感が感じられるから。

「南」にこだわって南がついているものを選んだ。

「南の杜」について、緑がいっぱいなところを連想した。寺社に見守られてというところが良いと思った。響きが美しいと思うから。理由については以上である。

委員長

事務局から票数と理由を読み上げてもらった。この結果に対して何か意見等あるか。

委員

前回の資料を見ると、中野神明小学校・新山小学校統合委員会と同じ名前が挙がっている。今回の絞り込みでも両方で挙げてしまうのではないかと心配である。

事務局

中野神明小学校・新山小学校統合委員会は11月16日に開催予定で、同じように20程に絞ったところから、3～4つ選ぶということになると思う。その後に重なっている校名については委員にお知らせする。

委員

「南中野」は、南中野中学校があるので小中連携が連想され、本当は良い校名だが、新校のうちどちらかが付けてしまうと、もう一方は連携してないと思われるのではないかと難しいと思う。

委員長

そういうことも考えながら、次回引き続き議論していきたい。それでは、複数票が入ったものが6つあったが、その中で7票、8票という校名が3つあった。「南台」、「南中野」、「南の杜」であるが、この3つに絞って次回議論していくというのは如何か。

—異議なし—

議事(2)その他

委員長

それでは、議事(2)その他に入る。円滑な再編のための取り組み事業について、事務局の説明を求める。

事務局

円滑な再編のための取り組み事業の第2回が10月21日に中野神明小学校で行われた。今回も当日の写真を回覧するとともに、両校長から当日の様子について報告してもらいたい。

委員

今回は体づくり教室ということで、ラジオ・テレビ体操で有名な多胡先生に講師を務めてもらった。走ることを中心として、たくさん体を動かしていた。3校の4年生が一緒になって楽しく過ごすことができたと思う。今回は中野神明小学校の学校公開日に合わせて実施したため、新山小学校の保護者も見学できた。この点もとても良かったと思う。

委員

前回と同じように3校の混合班で、体を動かしながら仲良く実施できた。多胡先生は以前から中野神明小学校に講師として来られていたようで、このような貴重な体験ができてありがたいと思う。多胡先生へのお礼の言葉は中野神明小学校でなく別の学校の児童が言う機会を作ったり、運営面での工夫も出来てきている。教室が終わって帰る時には、皆で手を振りながら、さようならと言いつながることができ、だんだんと自然になってきたなというように感じている。次回は多田小学校でなわとび教室を実施する。

委員長

続いて卒業記念制作作品等の取扱いについて、事務局の説明を求める。

事務局

卒業記念制作作品等の取扱いについて、第2回統合委員会で「学校再編に伴う仮校舎改修及び大規模改修の基本的な考え方について」の説明を行った。その中で統合新校としての必要な整備と

して、卒業記念制作作品等の撤去に関する説明を行った。基本的には新校開校までに撤去すること、保存は写真等のデジタルでの保存を進めてもらっている。撤去の時期は、概ね平成29年の統合前の春休みを行うことを予定しているが、工事が必要となるものは来年夏の一時使用改修工事に合わせて撤去を予定している。どれを工事で行うかは、学校と調整している。

大和小学校・若宮小学校統合委員会では、学校からの要望で、卒業記念制作作品等の取り扱いについて、地域へ周知する手段として統合委員会ニュースに記事を掲載した。来年1月に新山小学校の60周年記念行事があり、今回の統合委員会ニュースへの掲載が良い時期かと思うので、事務局から提案を行う。統合委員会で了解がとれば、記事の内容等については学校と調整して掲載したい。参考に大和・若宮統合委員会ニュースを回覧する。

委員

テレビで見たことであるが、学校が統合などで閉校する場合、最後卒業生に学校を見てもらう機会を設けているところが多いようだ。卒業生や地域の方に見てもらう日を学校ごとに設けたら良いのではないかと思う。

事務局

卒業制作記念品等の取扱いについては学校主体で行ってほしいと思っている。そのところ、どういう形にするかを今後詰めていってほしいと思う。

委員長

学校主体で行っていくということで、よろしいか。

委員

はい。

委員長

統合まで日が迫ってきて、そういうことも考えていく時期にきているということだろう。

続いて、次回開催日について、事務局の説明を求める。

事務局

次回、第8回開催は2月上旬を予定している。事前に委員長、学校の予定を聞いた結果、候補日は、2月2日火曜日、2月4日木曜日となった。どちらかでもほしい。

委員長

今回は2月4日木曜日18時半、南中野区民活動センターで行う。開催通知は近くなったら送付するとのことである。委員から他に何かあるか。

委員

昨年も同様の話をしたが、10月の地区運動会での出来事について話をさせてほしい。学校対抗競技で新山小学校が勝った時に、他校の児童から、砂をかけられたり態度の悪いことをされたりということがあった。そのことを聞いた数名の保護者から、このままでは統合しても意味がないのではという声上がり、心配している。地域全体で統合に対する意識を高めていかなければならないと思っている。学校の統合には校名等も大切なことであるが、子どもたちに精神的な負担がかかっている、それを緩和させることも大切だということ、この場で共有したい。

委員

地区運動会当日に3校の校長で集まって、児童に指導が必要だという話をした。中野神明小学校では全校朝会で講話をしたり、プリントを作って指導したと聞いている。後日行われた6年生の連合運動会では、気持ちよく競い合うことができた。学校としても引き続き指導していきたい。

委員

3校の校長で話をしたあと、連合運動会に向けて6年生に話をした。連合運動会での注意事項や目的についても、3校のことを盛り込んで話を行った。4年生の交流会の時に帰りに皆で手を振ったりしたが、連合運動会の帰りも同じようにいい雰囲気であった。こういうことの積み重ねで交流も進んでいくのだと思っている。

委員長

委員に共有してもらおうことはとても大事なことだ。学校の出来事も教えてもらって、委員も含

め、地域全体で気を付けていかなくてはいけない。指導もしっかりやっていただくということでお願いしたい。他に何かあるか。

委員

3校で統合に向けた話し合いが進んでいるが、統合新校を新山・神明、新山・多田と言ったり、校舎の位置を最初がどこ、帰ってきてどこという話をした時に分かりにくいため3校で申し合わせをして、神明・新山の新校をA校、多田・新山の新校をB校と呼び、整理して考えられるように工夫している。

また、平成29年度に統合新校が中野神明小学校の位置と多田小学校の位置で開校するという表現の文書が時々出ていて、非常に困っている。例えば、A校は平成29年度に新山小学校校舎を仮校舎として開校するというのが正しいことなので、別の言い方が出ている時には修正してもらいたいと思う。後にできるのは新校舎であって、新校ではない。よろしくお願いしたい。

委員長

我々委員も、そのあたりのことをしっかり学んで発言したり、考えたりしなくてはいけない。そのほかに何かあるか。ないようであれば、本日の統合委員会はこれをもって終了する。